

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名 称	山形県生涯学習センター	指定管理者	公益財団法人山形県生涯学習文化財団
所在地	山形市緑町1-2-36	県担当課	教育局 生涯教育・学習振興課
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日	(電話番号)	(023 - 630 - 3126)
検証期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	<ul style="list-style-type: none"> 県内にコロナ波が押し寄せる中、新型コロナウイルス感染防止を図るため、県担当課・遊学館内関係機関・委託業者と協議を重ね、適切に対応することができた。 本来業務に関しては、仕様書に従い、事業計画どおりに管理運營業務を実施することができた。 	評 価	<<評価の理由>> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対策については、県の方針に従い利用者への協力要請等を迅速かつ適切に行っている。 業務全般についても、県が仕様書等で求める業務水準を満たしている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の各種設備等では大規模修繕や更新が必要であると保守点検業者からの報告があり、優先順位を決めた上で早急に対応する必要がある。 洗心庵擁壁補強工事では、入館者の安全確保・近隣の住環境保全に配慮して施工した。また、冷暖房の不具合時に利用者の利便性損失が最小限になるようリスク回避対策に取り組む必要がある。 大雪が続くと、館内(駐車場を含む)では委託除雪が行き届かず凍結箇所が発生するなど危機的状況が頻発する。 	評 価	<<課題等の原因分析>> <ul style="list-style-type: none"> 施設完成から30年が経過し、修繕及び更新の時期を迎えている設備機器類が増加している。また、設備機器類の突然の故障や不具合の発生も増えている。 令和2~4年度に実施した洗心庵の擁壁工事においては、周辺道路が近隣の高校等の通学路になっており、混雑する登校時間帯は事故防止のため工事開始時刻等への配慮が求められた。また、周囲が住宅地等に囲まれた環境にあるため、騒音や振動等の対策も要した。 積雪期において、駐車場も含め除雪を要する場所が広範囲であることから、急な積雪時等においては、除雪が追いつかない箇所が生じることもある。
課題、問題点への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 設備機器類の修繕・更新に当たっては、故障の発生や保守点検結果を踏まえ、年度ごとに工事の優先順位を見直し必要な対応を講じていく。 設備機器類の修繕・更新・工事等を行う際は、利用者の利便性や周辺環境にも十分に配慮し、できるだけ利用者に影響の少ない時期に実施するように調整する。 冬季間の利用者や職員の構内通行に関しては、降雪や積雪等の状況を注視し、立入禁止区域を設けるなど必要な安全対策を講じる。 		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策としては、屋外でのマスク着用の規制の緩和やマスク着用は個人の判断に委ねるなどの社会情勢等を捉えて、関係者協議の下、適宜、入館者の感染防止対策を見直し最適化を行った。 駐車場の機器誤作動が起因して一帯が渋滞に見舞われることがあり、その都度、職員が駐車場に向いてトラブル解消を行った。 近くのツルハ緑町店から遊学館利用者が店内で無断駐車をしている旨のクレームが寄せられるので、その都度、主催者に改善措置をお願いしているが、貸館利用者との催事打合せでは参加者へ注意を促すとともに文書でも通知するなど未然防止対策を講じている。 	評 価	<<評価の理由>> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策については、発生状況を注視し、臨機応変に必要な対応を講じ、トラブルの防止に努めた。 利用者や近隣からの苦情に対しては、必要に応じて警察や関係機関とも連携するなど、きめ細やかに対応している。
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き利用者の意見及び要望の把握に努め的確な対応をしてもらうとともに、近隣からも施設の運営に理解と協力が得られるように指定管理者とも協議し、よりよい対応に努めていく。 		
3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房を効果的・効率的に稼働させるため、館内関係機関からの要望に即応できるよう指示システムを整理した。 研修室エリアのオンライン環境改善を情報通信能力向上として確立し、利用者サービス増大に見合う有償化制度化を図り、料金収入の多角化を達成した。 「赤ちゃんほっとステーション」の登録を行い、乳幼児を抱える家族が安心して過ごせる環境を提供した。 	評 価	<<評価の理由>> <ul style="list-style-type: none"> 利用者サービスの向上のため、設備面・運用面で積極的な改善措置を講じるとともに、県の施策等にも積極的に対応した。
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は電気代等が高騰したが館内全体で経費縮減を図るため、館内の関係機関・委託業者と連携し、電気代等の節約に繋がるプラスワン行動を関係機関各自が実行し、その結果、電気代等を前年度以下に抑え込むことが出来た。 コロナ禍に関する消耗品については、委託業者と発注数量のチェックや新規物品の購入検討を協議することで、適切な経費執行を行った。 	評 価	<<評価の理由>> <ul style="list-style-type: none"> 効率化の観点から業務を見直すとともに、利用者の利便性に配慮しながら経費の節減等を図っている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> 4施設(遊学館・洗心庵・文翔館・教育資料館)連携事業として、講演、パネル展、スタンプラリーを実施し、当該エリアの活性化に努めたが、令和4年度はやまがた伝統文化フェスタ(県独自事業)と協働し賑わいを上げた。 洗心庵では呈茶事業(年5回)や写真コンテストを行ったが、写真コンテスト入賞作品を展示したほか、ホームページでも優秀作品のPRを行った。 	評 価	<<評価の理由>> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する配慮が求められる中、工夫を凝らした自主事業を実施し、県事業や他施設との連携事業を通じて、地域の活性化や賑わい創出に寄与している。
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止については、県の方針に沿った積極的かつ適切な対策を講じている。 指定管理者公募時のサービス向上に向けた提案内容はもとより、利用者の要望等を積極的に取り入れ、事業の持ち方に工夫等を凝らす等、多くの施策を自主的に実施しており、指定管理者制度導入前よりも利用者へのサービスの向上が図られている。 		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。